

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成 21 年 8 月 27 日 (2009.8.27)

【公開番号】特開 2008-268048 (P2008-268048A)

【公開日】平成 20 年 11 月 6 日 (2008.11.6)

【年通号数】公開・登録公報 2008-044

【出願番号】特願 2007-112655 (P2007-112655)

【国際特許分類】

G 0 1 N 30/00 (2006.01)

G 0 1 N 30/86 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 30/00 Z

G 0 1 N 30/86 D

G 0 1 N 30/86 G

G 0 1 N 30/86 Q

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 7 月 8 日 (2009.7.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ネットワークを介して分析機器の動作を制御するために、該分析機器による分析条件を入力したり分析の開始・停止を指示するために操作される入力手段と、分析結果や分析実行者、その他の各種情報から成る分析データを表示するための表示手段とを含む制御装置であって、

a) 該制御装置に接続された分析機器についての制御権を有するユーザのみに該分析機器の制御を許可する制御管理部と、

b) 制御権を保有するユーザを分析ユーザとして分析データに追記的に記録する分析ユーザ記録手段と、

c) 前記入力手段から入力される制御権の移譲要求に基づき、制御権を該移譲要求に含まれるユーザに移譲する制御権移譲手段と、

を備えることを特徴とする分析機器制御装置。

【請求項 2】

前記制御管理部は、ネットワーク上の他の全ての制御装置に問合せを行うことにより、又はネットワーク上に設けられた制御権管理テーブルを参照することにより、制御権の保有状態を確認することを特徴とする請求項 1 に記載の分析機器制御装置。

【請求項 3】

更に、

d) 前記分析機器に登録する又は登録されているバッチ分析ファイル中に、制御権を付与する一又は複数の予約分析ユーザを登録又は変更するユーザ予約手段

を備え、

前記制御権移譲手段が該バッチ分析ファイルに登録されている予約分析ユーザに所定のタイミングで以て制御権を移譲することを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の分析機器制御装置。

【請求項 4】

コンピュータを、

分析機器の動作を制御するために、該分析機器による分析条件を入力したり分析の開始・停止を指示したりするために操作される入力手段と、分析結果や分析実行者、その他の各種情報から成る分析データを表示するための表示手段とを含む制御装置であって、

a) 該制御装置に接続された分析機器についての制御権を有するユーザのみに該分析機器の制御を許可する制御管理部と、

b) 制御権を保有するユーザを分析ユーザとして分析データに追記的に記録する分析ユーザ記録手段と、

c) 前記入力手段から入力される制御権の移譲要求に基づき、制御権を該移譲要求に含まれるユーザに移譲する制御権移譲手段と、

を備えた分析機器制御装置として動作させることを特徴とする分析機器制御装置用プログラム。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

上記課題を解決するために成された本発明に係る分析機器制御装置は、

ネットワークを介して分析機器の動作を制御するために、該分析機器による分析条件を入力したり分析の開始・停止を指示するために操作される入力手段と、分析結果や分析実行者、その他の各種情報から成る分析データを表示するための表示手段とを含む制御装置であって、

a) 該制御装置に接続された分析機器についての制御権を有するユーザのみに該分析機器の制御を許可する制御管理部と、

b) 制御権を保有するユーザを分析ユーザとして分析データに追記的に記録する分析ユーザ記録手段と、

c) 前記入力手段から入力される制御権の移譲要求に基づき、制御権を該移譲要求に含まれるユーザに移譲する制御権移譲手段と、

を備えることを特徴とする。